

大学の世界展開力強化事業 H27取組概要 神戸大学

【構想の名称】(選定年度24年度(申請区分(I)))

ASEAN諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成

【プログラムの目的・養成する人材像】

神戸大学及び大阪大学の世界標準の教育を基盤に、ASEAN諸国との連携・協働により、ASEAN諸国の課題への的確な問題解決能力及び英語による実践的コミュニケーション能力を有する、医学・保健学グローバルリーダーとして活躍できる医師、教育研究者、高度医療専門職者、医療産業人を養成する。

【構想の概要】

神戸大学、大阪大学、インドネシア大学、ガジャマダ大学、アイルランガ大学、マヒドン大学、チェンマイ大学を中心にコンソーシアムを構成し、ASEAN諸国との連携・協働により、短期間の派遣プログラム、単位を認定する交換留学及び博士課程の学位取得プログラムという多層的な派遣・受入交流プログラム等を企画・展開する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ ダブルディグリープログラム実施に向けた協議

神戸大学医学研究科とマヒドン大学シリラート病院医学部でダブルディグリープログラム実施に向けたMOUを締結した。同様に、ガジャマダ大学医学部とダブルディグリープログラム実施に向けたMOUの締結に関して合意に至っている。

○ 外部評価委員会、中間評価

平成26年度に実施した外部評価委員会や中間評価による評価を受け、平成27年度以降の事業計画に反映し、継続した学生交流及び人材育成ができるよう努めている。

■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

〈訪問診療への同行〉



○ 病院実習プログラム

学部学生を対象とした、附属病院や地域の医療施設でおこなう病院実習プログラムを実施した。

○ 研究プログラム

大学院生を対象とした、大学の研究施設や保健センターでおこなう研究プログラムを実施した。

○ 学位取得プログラム

ASEAN諸国学生を対象とした、博士学位取得プログラムを実施した。H27年度は、学生1名が博士(保健学)を取得した。

〈病院実習プログラム修了式〉



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

平成24年度は計11名、平成25年度は計24名、平成26年度は計28名、平成27年度は計27名の派遣をおこなった。平成28年度は、各大学に1~7名の学生派遣を予定している。

○ 外国人留学生の受入れ

平成24年度は計3名、平成25年度は計23名、平成26年度は計40名、平成27年度は計59名の学生受入をおこなった。平成28年度は、各大学から1~7名の学生受入を予定している。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	11	24	28	27	26
学生の受入	3	23	40	59	20

注)H24-H27は実績、H28は計画

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ Elective Programの開設

Elective Programのホームページ(<http://www.med.kobe-u.ac.jp/elepro/>)を開設し参加学生の募集をおこなっている。ホームページ上では、応募要件や各臨床科ごとのシラバスについて公開している。

○ 留学生チューター

受入学生の学業や日常生活の補助をおこなう留学生チューターとして日本人学生を雇用した。この雇用により、派遣学生以外の学生についても海外学生と交流を持つことができる機会を提供することができた。

■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況 情報の公開・成果の普及

○ ホームページによる成果の普及

得られた成果や参加学生のレポートを本プログラムの日本語版及び英語版のホームページ(<http://www.med.kobe-u.ac.jp/asean/>)に掲載した。

○ セミナーによる成果の普及

テレカンファレンスセミナー(H28年2月)や国際セミナー(H28年3月;インドネシア)を開催し、成果を議論・発信した。